

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 050	提案機関名	普及指導部		
要望問題名 アオキ‘湘南おりひめ’‘湘南ひこぼし’の早期製品化に向けた生産技術の確立				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 アオキ‘湘南おりひめ’‘湘南ひこぼし’農業技術センター育成品種で、植木生産者からも日陰地の観賞樹や鉢物としての利用が期待されている。両品種は昨年度園芸協会が許諾を受け本年度より本格的な生産が始まることとなった。しかし、特に実の付く‘おりひめ’は初期生育が遅く通常の挿し木増殖では生産体制確立の妨げとなることが予想されるため、接ぎ木や挿し木を組み合わせた効率的な増殖技術や育苗管理技術の確立が期待される。 また、近年アオキの生産、利用場面で散見されるアオキの枝枯れ症状について、研究ほ場では他の品種に比べ弱い傾向が観察されるので、これらの防除体系の確立についても要望する。				
解決希望年限	①1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター②畜産技術センター③水産技術センター④自然環境保全センター			
備考				

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課 生産環境部病害虫研究課				
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施	<input checked="" type="checkbox"/> ②実施中	<input type="checkbox"/> ③継続検討	<input type="checkbox"/> ④実施済	<input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応	<input type="checkbox"/> ⑥現地対応	<input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 1 地産地消を推進する安定生産技術の確立 (3)直売等に適した花き・観賞樹の安定生産技術の開発 オ 観賞樹の効率的な栽培技術の開発							
対応の内容等 従来アオキの増殖は挿し木を中心に行われていますが、「湘南おりひめ」は地下部の生育が著しく悪いことを観察しているため「湘南ひこぼし」他を台木とする接ぎ木増殖を検討します。 また、他品種を用いて初期生育を向上させる用土の検討を行ってきましたので、その結果を踏まえ「湘南おりひめ」の用土を含めた肥培管理方法について検討します。 アオキの枝枯れ症状については、生理的な原因によるものかあるいは既報のアオキの病害に該当するものか、新病害の可能性も含め、病害であれば、病原を明らかにしたうえで対処法を検討する必要があります。所内ほ場での状況等を調査します。							
解決予定年限	①1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内			
備考							